

Cisco License Central(CLC)で、デバイスの登録を解除してスマートアカウントに再登録するにはどうすればよいですか。

はじめに

このドキュメントでは、Cisco License Central(CLC)でトークンを生成することにより、デバイスの登録解除と再登録を行うプロセスについて説明します。

ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクティブなCisco.comアカウント
- デバイスへのアクセス
- デバイスのCLI (コマンドラインインターフェイス) またはGUIへのアクセス
- Cisco License Centralにアクセスするユーザは、次のうち少なくとも1つを持っている必要があります。
 - スマートアカウントユーザ/管理者
 - 仮想アカウントユーザ/管理者



注：トークンの作成に関するサポートが必要な場合は、Ask Licensingを使用してトランザクションを実行できます。詳細については、Ask Licensing Webを参照してください。

手順

デバイスの登録解除

デバイスの登録を解除するには、関連する製品コンフィギュレーションガイドに記載されている手順に従ってください。

デバイスの再登録

ステップ1:[Cisco Software Central](#)に移動し、Cisco.comクレデンシャルを使用してログインします。

ステップ2: Cisco License Centralセクションで、Cisco License Centralへのアクセスをクリックします。

ステップ3: スマートアカウント名を入力するか、検索機能を使用して適切なアカウントを見つけて選択します。

ステップ4: 左側のナビゲーションメニューから、Devices > Device Connections > Token Managementの順に選択します。

ステップ5: Generate a Tokenボタンをクリックします。

ステップの結果: トークン生成免責事項のポップアップが表示されます。

ステップ6: Nextをクリックします。

ステップ7: [仮想アカウントの選択]で、トークンを生成する特定の仮想アカウントを選択します。

ステップ8: トークンの有効期限(日数)と最大使用数を指定します。



注: デフォルトでは、「エクスポート制御機能を許可」オプションが有効になっています。このチェックボックスをオフにすると、より高いレベルの製品暗号化機能はデバイスでサポートされなくなります。

ステップ9:Nextをクリックします。

ステップの結果：トークンの確認/編集の詳細ページが表示されます。仮想アカウントのトークンごとに異なる詳細を追加する場合は、仮想アカウントレベルでトークンの詳細を編集できます。

ステップ10:Editをクリックして変更するか、Generate a Tokenをクリックして完了します。

ステップの結果：トークン生成の確認が表示されます。

ステップ11：新しいトークンが[Token Management]タブの[Devices] > [Device Connections]に表示されます。トークン・エントリーの横にあるコピー・アイコンをクリックして、クリップボードに保存します。

ステップ12：特定の製品コンフィギュレーションガイドに記載されているコマンドまたは手順に従って、コピーされたトークンを使用してデバイスを登録します。



注：トークン管理の詳細については、「Cisco License Centralで自分のスマートアカウントからトークンを作成するにはどうすればよいですか」を参照してください。

トラブルシューティング

登録プロセス中に問題が発生した場合は、次のシナリオを参照してください。

1. デバイスは生成されたトークンを受け入れません
2. トークンの適用後にデバイスのアクティブ化が失敗する。

詳細な解決手順については、ご使用のハードウェアまたはソフトウェアデバイスに付属の『Product Configuration Guide (製品構成ガイド)』を参照してください。

外部のお客様/パートナー様専用：次の手順に従って問題を解決してください。さらにサポートが必要な場合は、[Cisco Support Case Manager](#)からライセンスサポートのリクエストを開始してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。